

授業科目	失語症Ⅰ（基礎）				
担当者	大西 環				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

失語症とはどのような言語障害であるか、その基礎的な内容を中心に講義を行う。

■ 到達目標

失語症の言語症状やタイプ分類について理解し、臨床の観察点とすることができる。

■ 授業計画

- 第1回 失語症とは 定義と障害の特徴、臨床の流れ
- 第2回 言語モデルについて
- 第3回 失語症の言語症状 流暢性と非流暢性
- 第4回 失語症の言語症状 発話の障害について①
- 第5回 失語症の言語症状 発話の障害について②
- 第6回 失語症の言語症状 聴覚的理解障害について
- 第7回 失語症の言語症状 読み書きの障害について
- 第8回 失語症のタイプ分類①
- 第9回 失語症のタイプ分類②
- 第10回 失語症のタイプ分類③
- 第11回 純粹失読、純粹失書、失読失書
- 第12回 症状の観察の仕方①
- 第13回 症状の観察の仕方①
- 第14回 症状の観察の仕方①
- 第15回 まとめと復習

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

毎回の復習を必ず行うこと。
疑問点は随時解決できるよう、できるだけ次の講義時間に質問すること。

■ 教科書

書 名：脳卒中後のコミュニケーション障害
著者名：竹内愛子 川内十郎 編著
出版社：協同医書出版社

■ 参考図書

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって

失語症理解の基礎となる科目です。失語症Ⅱ（評価）、失語症Ⅲ（訓練）、失語症Ⅳ（臨床講義）につながるようしっかり取り組んでください。